

長与町公共施設個別施設計画



令和2年10月

令和5年3月一部改訂

長 与 町

目 次

I	計画の目的、位置づけ	1
II	対象施設	2
III	計画期間	3
IV	計画の基本的な考え方	4
V	目標使用年数の設定	
	（1）耐用年数の考え方	6
	（2）目標使用年数の設定	7
VI	対策の優先順位の考え方	
	（1）予防保全型管理と事後保全型管理について	8
	（2）予防保全部位の改修周期について	9
	（3）改修にかかる優先順位について	10
VII	施設類型ごとの管理計画	
	1. 行政系施設	13
	2. 社会教育系施設	15
	3. 保健・福祉系施設	16
	4. 市民文化系施設	18
	5. 子育て系施設	25
	6. スポーツ・レクリエーション系施設	28
	7. 産業系施設	31
	8. その他	32
VIII	具体的な管理スケジュール	34
IX	対策費用	37

I 計画の目的、位置づけ

本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」（平成25年11月策定）、及びこれに基づいて策定した「長与町公共施設等総合管理計画」（平成29年3月策定。以下、「総合管理計画」という。）の個別施設計画として、総合管理計画の基本方針を踏まえながら、個別施設ごとの更新や長寿命化などの具体的な実施方針について定めるものである。

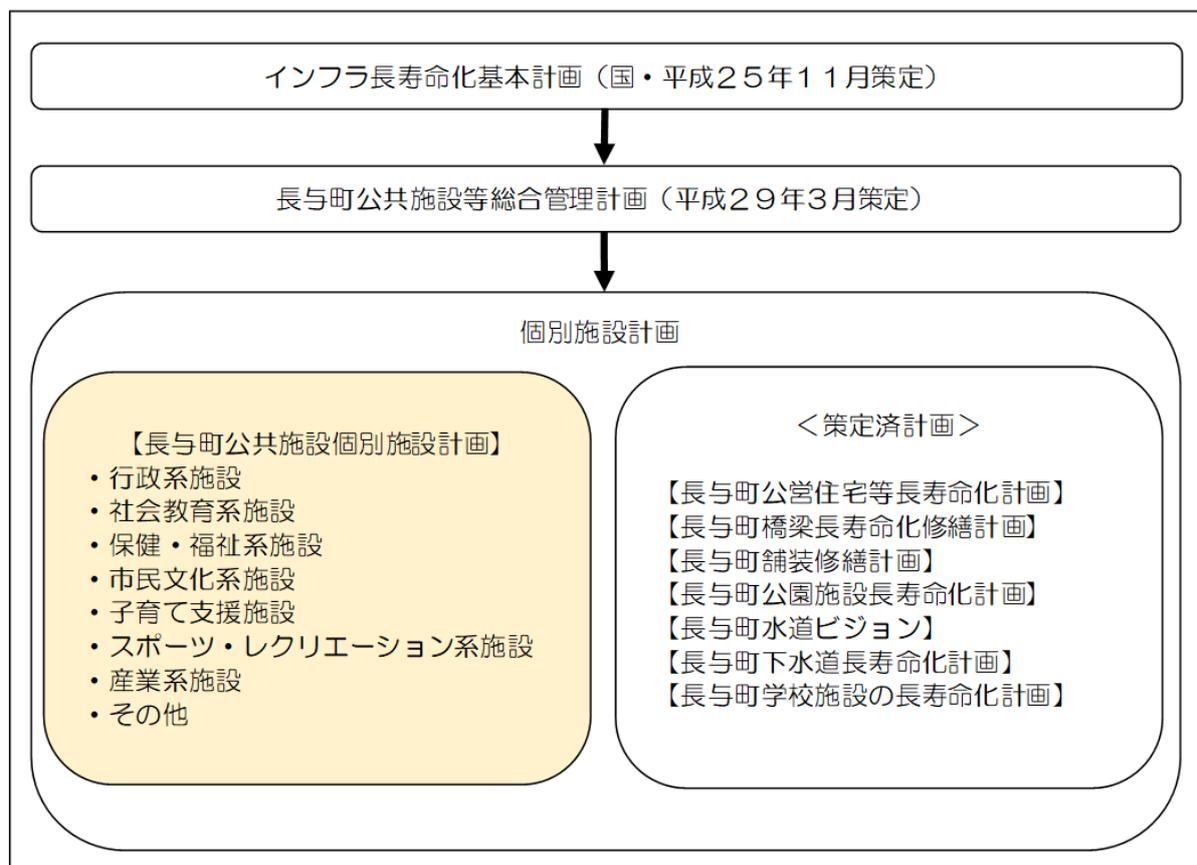


図 本町におけるインフラ長寿命化計画の体系図

II 対象施設

本計画は、総合管理計画に掲げる公共施設及びインフラ施設から、長寿命化や更新などの具体的な対応を検討する必要があると考えられる公共施設のうち、以下の施設を対象とする。

No.	類型	施設名	構造	延床面積	建築年度	担当課
1	行政系	長与町役場庁舎	RC	6,153.95	1988	契約管財課
2	行政系	長与町役場車庫棟	S	592.85	1988	契約管財課
3	行政系	第1分団格納庫	W	78.34	1985	地域安全課
4	行政系	第2分団格納庫	W	77.13	1977	地域安全課
5	行政系	第3分団格納庫	W	79.92	2009	地域安全課
6	行政系	第4分団格納庫	W	81.75	2008	地域安全課
7	行政系	第5分団格納庫	W	79.42	2014	地域安全課
8	行政系	第6分団格納庫	W	139.12	2015	地域安全課
9	行政系	第7分団格納庫	W	107.1	2017	地域安全課
10	行政系	第8分団格納庫	RC	86.64	2012	地域安全課
11	行政系	第9分団格納庫	W	82.57	1978	地域安全課
12	社会教育系	長与町図書館	RC	1,666.3	1957	生涯学習課
13	保健福祉系	長与町健康センター	RC	678.44	1965	健康保険課
14	保健福祉系	老人福祉センター丸田荘	RC	812.15	2000	福祉課
15	市民文化系	長与町公民館	S	700	1967	生涯学習課
16	市民文化系	長与町公民館横倉庫	その他	131	1970頃	生涯学習課
17	市民文化系	高田地区公民館	RC	797.5	1975	生涯学習課
18	市民文化系	上長与地区公民館	RC	711.73	1979	生涯学習課
19	市民文化系	長与北部地区 多目的研修集会施設	RC	608.83	1982	生涯学習課
20	市民文化系	長与町勤労青少年ホーム	RC	765	1980	生涯学習課
21	市民文化系	長与町働く婦人の家	RC	868	1982	生涯学習課
22	市民文化系	長与南交流センター	S	873.8	2006	地域安全課
23	市民文化系	長与町ふれあいセンター	RC	735.77	1965	地域安全課
24	市民文化系	長与町ふれあいセンター 体育館	SRC	670	1965	地域安全課
25	市民文化系	長与町ふれあいセンター 電気棟	S	102	1965	地域安全課
26	市民文化系	長与町民文化ホール	SRC	3,531.34	1997	生涯学習課
27	市民文化系	長与町宿泊研修施設 「つどいの家」	W	352.42	1993	生涯学習課
28	市民文化系	陶芸の館	S	160.7	1996	生涯学習課

No.	類型	施設名	構造	延床面積	建築年度	担当課
29	子育て系	高田保育所	RC	1,419.43	2013	こども政策課
30	子育て系	高田児童館	SRC	299.5	1983	こども政策課
31	子育て系	上長与児童館	RC	201.6	1990	こども政策課
32	子育て系	長与北児童館	RC	299.8	1992	こども政策課
33	子育て系	長与南児童館	RC	334.01	1994	こども政策課
34	子育て系	長与児童館	RC	654.2	2001	こども政策課
35	スポーツ系	上長与体育館	S	832	1977	生涯学習課
36	スポーツ系	長与町民体育館	RC	3,199.31	1993	生涯学習課
37	スポーツ系	長与町武道館	S	984.8	1988	生涯学習課
38	スポーツ系	長与町ウォーキングセンター 潮井崎交流館	W	224.05	2001	土木管理課
39	スポーツ系	長与町海洋スポーツ交流館	RC	196	2008	生涯学習課
40	スポーツ系	長与町海洋スポーツ艇庫	S	544	2010	生涯学習課
41	産業系	まんてん	S	199.89	2002	産業振興課
42	その他	長与町営駐車場	RC	1,440.85	1979	契約管財課
43	その他	長与駅舎（コミュニティホール他）	S	637.8	1997	契約管財課

表 対象公共施設一覧

なお、本計画には学校施設は含まれないが、これらの施設に係る個別施設計画は別途策定する。

また、本町における公共施設の約半分を学校施設が占めることから、双方の計画が密接不可分なものである点に留意したうえで、一体的な進捗管理を行っていく。

Ⅲ 計画期間

本計画の計画期間は、令和2年度から令和11年度までの10年間とするが、財政状況及び計画期間以降の施設の状況とも深く結びついていることから、5年ごとに見直しを行うことを基本とし、計画期間以降の施設に関する検討も含めたうえで改訂を行う。

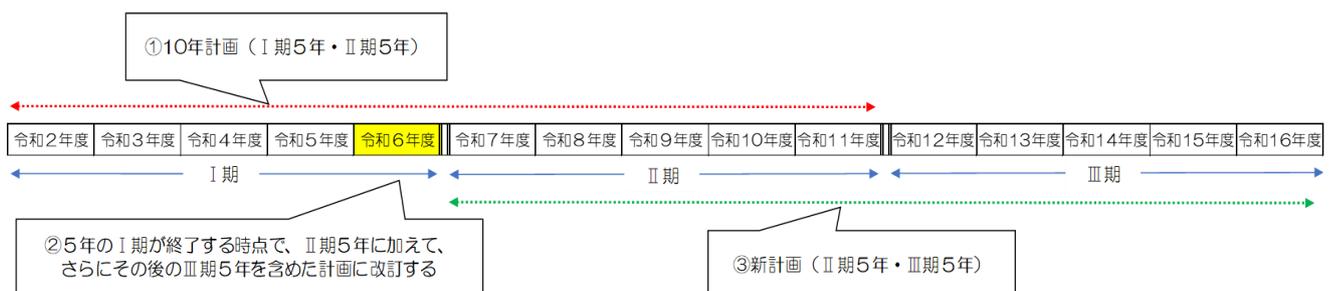


図 計画期間と改訂イメージ

IV 計画の基本的な考え方

総合管理計画によると、本町における一人あたりの公共施設保有面積は、同規模自治体との比較においては、平均値を若干下回っているという結果が示されている。

表 同規模の19自治体との公共施設総量の比較（出典・長与町公共施設総合管理計画）

順位	県	自治体名	人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)	延床面積(m ²)	一人あたりの床面積(m ² /人)
1	香川	多度津町	23,660人	24.38km ²	970.5	97,438	4.12
2	鳥取	境港市	35,699人	29.02km ²	1230.2	143,406	4.02
3	宮城	大河原町	23,768人	24.99km ²	951.1	88,664	3.73
4	福岡	篠栗町	31,530人	38.93km ²	809.9	113,436	3.60
5	愛知	弥富市	44,481人	49.km ²	907.8	151,605	3.41
6	京都	精華町	37,443人	25.68km ²	1458.1	115,194	3.08
7	岐阜	瑞穂市	53,225人	28.19km ²	1888.1	155,172	2.92
8	大阪	阪南市	56,975人	36.17km ²	1575.2	164,688	2.89
9	広島	海田町	29,106人	13.79km ²	2110.7	79,848	2.74
10	長崎	長与町	42,418人	28.73km ²	1476.4	114,115	2.69
11	愛知	東浦町	50,309人	31.14km ²	1615.6	132,498	2.63
12	大阪	島本町	30,709人	16.81km ²	1826.8	79,840	2.60
13	静岡	長泉町	42,464人	26.63km ²	1594.6	109,166	2.57
14	愛知	高浜市	46,295人	13.11km ²	3531.3	118,276	2.55
15	千葉	酒々井町	21,348人	19.01km ²	1123.0	53,015	2.48
16	埼玉	三芳町	38,233人	15.33km ²	2494.0	91,305	2.39
17	埼玉	日高市	57,249人	47.48km ²	1205.7	127,872	2.23
18	大阪	大阪狭山市	57,793人	11.92km ²	4848.4	128,204	2.22
19	和歌山	岩出市	53,677人	38.51km ²	1393.8	114,848	2.14
20	埼玉	白岡市	51,688人	24.92km ²	2074.2	102,657	1.99
20市町平均			41,404人	27.19km ²	1522.9	114,062	2.85

※：各自治体の情報は以下による（本町の人口は平成28年3月末時点を採用）

- 人口：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（H27年1月1日現在）」
- 行政面積：総務省の「全国都道府県市区町村別面積調」
- 延床面積：各自治体が公表している「公共施設等総合管理計画」

本町と行政面積や人口が類似する団体との相対比較では、過剰な保有量を有しているとは言えず、また、全国（平均・3.75 m²/人）、県内自治体（平均・5.29 m²/人）との比較においても、本町における一人あたりの公共施設保有量は下回っているという結果であった。

そもそも本町は、明治期の町村制施行以降、市町村合併をしていないことから、公共施設の保有量を過剰に有していないと考えられ、また配置についても図書館や体育館など、すべての町民を対象に公共サービスの向上を目的として設置した施設以外は、各地域コミュニティに必要な学校や公民館、児童館など、地域活動に必要な機能を有する施設の設置に留めていることから、適正な配置も実現できているものとする。

一方で、施設の保有量が少なくても、施設を利用している人が少ないのであれば、廃止や統廃合の対象とすべきであるが、本計画にも示すとおり、利用者が極端に少ない施設や、近年大幅に利用者を減らしている施設はないことを踏まえると、基本的には現在の保有量を維持していくべきであるとする。

このため、本計画においては、現在の保有量を維持するために、計画的な維持・管理を行うことで施設の長寿命化を図ることを基本とする。

しかしながら、保有量の縮減についても常に念頭においておく必要があることから、施設を更新する際には、利用状況を踏まえた施設規模とするほか、他施設との複合化・集約化を検討・実施することで、保有量を縮減していくことを基本的な方針とする。

また、本計画では、施設の大規模改修や更新、又は廃止についての方針を示すものとし、施設のメンテナンスや維持修繕等については、本計画には見込まないものとする。

<本計画における基本的な考え方>

- ①本町の公共施設保有量や利用状況を踏まえ、現在の保有量を維持することを目的に、施設の長寿命化を図る。
- ②施設を更新する際には、利用状況を踏まえた施設規模とするほか、他施設との複合化・集約化を検討・実施することで、保有量の縮減を図る。

表 建物用途・構造に応じた望ましい目標耐用年数の級

用途	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造 重量鉄骨			ブロック造 れんが造	木造
	高品質 の場合	普通の品質 の場合	高品質 の場合	普通の品質 の場合	軽量鉄骨		
学校・官庁	Y100 以上	Y60 以上	Y100 以上	Y60 以上	Y40 以上	Y60 以上	Y60 以上
住宅・事務所・病院	Y100 以上	Y60 以上	Y100 以上	Y60 以上	Y40 以上	Y60 以上	Y40 以上
店舗・旅館・ホテル	Y100 以上	Y60 以上	Y100 以上	Y60 以上	Y40 以上	Y60 以上	Y40 以上
工場	Y40 以上	Y25 以上	Y40 以上	Y25 以上	Y25 以上	Y25 以上	Y25 以上

表 級に応じた目標耐用年数の区分

級	目標耐用年数		
	代表値	範囲	下限値
Y150	150 年	120 ~ 200 年	120 年
Y100	100 年	80 ~ 100 年	80 年
Y60	60 年	50 ~ 80 年	50 年
Y40	40 年	30 ~ 50 年	30 年
Y25	25 年	20 ~ 30 年	20 年

これらのことから、①物理的耐用年数をベースに考えると、一般的に、鉄筋コンクリート造、重量鉄骨造の場合は 50 年から 80 年の耐用年数が、軽量鉄骨造や木造の場合には、30 年から 50 年の耐用年数が見込めることがわかる。

(2) 目標使用年数の設定

本計画では、この建物躯体の耐用年数を建物の目標使用年数と位置づけて一つの基準として活用する。

本計画における建物の目標使用年数は、下表のとおりとする。

鉄筋コンクリート造	重量鉄骨造	木造 軽量鉄骨造等	その他
65 年	65 年	48 年	50 年程度

一方で、施設の寿命は、構造・立地条件等の個別の要因によっても変化することや、それに対する費用対効果も考慮する必要があることに加え、施設の用途や利用状況等を総合的に判断したうえで、目標使用年数に満たない更新等についても可能とする。

VI 対策の優先順位の考え方

「V 目標使用年数の設定」において設定した目標使用年数を踏まると、今後 15 年間で更新を検討すべき施設は、長与町図書館、長与町ふれあいセンター、健康センターなどの 10 施設であり、これらについては、施設の老朽化等を鑑みると対策の優先順位は高く、利用状況を踏まえた施設規模への更新や他施設との複合化等を検討していく。

一方で、10 施設以外については、基本的な方針である「施設の長寿命化を図る」という視点から適切な維持・管理を実施するために、必要な改修工事を行う必要があるため、その基本的な考え方を以下のとおりとする。

(1) 予防保全型管理と事後保全型管理について

本計画では、保有する施設を長期的に利用することを目的に、「予防保全型管理」により施設を管理していくことを基本とする。一方で、従来の対処療法的な「事後保全型管理」から、劣化を事前に把握し事故等を未然に防ぐ「予防保全型管理」に切り替える際には、計画初期の段階においてかなりの費用がかかるとされている。これはそれまでの間、計画的な維持管理をしていなかったことによる財政投資が一度に必要となるからである。

このような中で、保有するすべての部位を予防保全型管理に移行することは、財政面からも難しいため、予防保全型管理と事後保全型管理を併用することが現実的であると言える。予防保全型管理に分類するものとしては、従前の管理のままでは構造体（建物躯体）に大きな悪影響を直接的に与えることになると考えられる「屋根防水」「外壁」「電気設備」及び「給排水設備」の 4 つとなる。

このため、本町では下表のとおり、予防保全型管理と事後保全型管理にわけて実施することを基本とする。

表 予防保全と事後保全の区分

改修工事	区分理由	予防保全	事後保全
屋根防水全面改修	部位の耐用年数を考慮し計画的に改修を実施	○	
部分的な漏水箇所の修繕	日常点検・診断による不具合発見時の迅速対応		○
外壁の全面改修	部位の耐用年数を考慮し計画的に改修を実施	○	
ひび割れ・爆裂等の修繕	日常点検・診断による不具合発見時の迅速対応		○
建具の修繕・更新	日常点検・診断による不具合発見時の迅速対応		○
天井・壁・床	日常点検・診断による不具合発見時の迅速対応		○
電灯・電話等	日常点検・診断による不具合発見時の迅速対応		○
受変電設備の更新	設備の耐用年数を考慮し計画的に改修を実施	○	
受水槽の更新	設備の耐用年数を考慮し計画的に改修を実施	○	
空調設備の更新	日常点検・診断による不具合発見時の迅速対応		○

昇降機の更新	法定点検等の結果による迅速対応		○
消火設備	法定点検等の結果による迅速対応		○
トイレ等の衛生設備	日常点検・診断による不具合発見時の迅速対応		○

(2) 予防保全部位の改修周期について

予防保全型管理を実施する部位については、「建築物の耐用年数ハンドブック（公益財団法人ロングライフビル推進協会編集 2012）」による考え方を基に、下表により管理することを基本とする。このため、対象部位について改修工事を行った場合には、改修周期まではその施設を使用するということが前提となる。よって、目標使用年数が間近となっている場合では、改修工事を行うよりも応急処置的な修繕工事とすることで財政投資を抑制しつつ、更新等の検討を行うなどの数年先を見据えたビジョンを持つ必要がある。

また、劣化状況により、早期の対応が必要な場合には、ここで示す改修周期に依らずに、修繕工事を実施する等の対応を検討する。

表 標準的な部位の改修時期（例）

対象部位	具体例	改修周期
屋根・防水	アスファルト露出防水、金属屋根（折板）、瓦葺き	30年
	シート防水、アスファルトシングル葺き	20年
外壁	吹付仕上げボード張り	20年
受変電設備	配電盤類	30年
給排水設備	給水管、排水管	30年

(3) 改修にかかる優先順位について

建物の一部の部位を予防保全型管理に移行したとしても、計画初年度にかかる経費は膨大なものとなる。しかしながら、財政的視点を踏まえると、そのすべてを負担することは非現実的であり、優先順位をつけて実施していく必要がある。

優先順位については「①施設の劣化状況」「②施設の用途」及び「③施設の利用状況」を踏まえて全庁的に検討し、実施するものとした。

①施設の劣化状況

平成 29 年度に実施した、公共施設劣化状況調査による調査結果をベースに判断する。

なお、当該調査は、学校教育施設を含めて 33 施設 46 棟で実施しており、本計画の対象施設のうち、調査を行っていない施設名及びその理由は以下のとおりである。

施設No.・施設名	調査を行わなかった理由
No.3～11・各消防格納庫	築年数が浅い施設がほとんどであり、古い施設についても、更新の予定があるため
No.29・高田保育所 No.39・長与町海洋スポーツ交流館 No.40・長与町海洋スポーツ艇庫 No.41・まんてん	築年数が浅いため
No.43・長与駅舎（コミュニティホール他）	JR 保有施設と合築であるため

これらの施設については、今後計画の改訂を行う場合など、必要に応じて調査を実施するものとする。

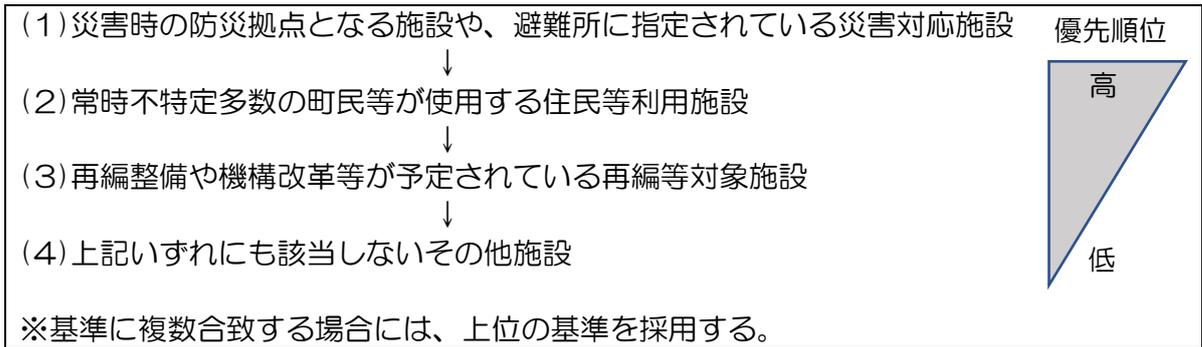
また、劣化状況調査における調査内容については、目視及び定期点検等の記録により調査を行ったが、対象とした部位は以下のとおりである。

表 調査部位 一覧

区分	調査部位
建築	<ul style="list-style-type: none"> ・ 躯体（傾斜又は変形、部材のひび割れ、錆など） ・ 屋根（防水層の劣化、漏水又はその痕跡など） ・ 外壁（剥落、浮き、ひび割れ、外壁からの漏水又はその痕跡など） ・ 内壁・天井・床（剥がれ、亀裂、損傷など） ・ 外部建具（腐食・損傷、開閉動作の不良、漏水など） ・ 内部建具（腐食・損傷・変形、開閉動作の不良など） ・ バリアフリー（スロープ、手摺、身障トイレ、点字ブロック等）
電気設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電灯・電話設備（劣化状況・定期点検の結果、経年） ・ 受変電設備（劣化状況・定期点検の結果、経年） ・ 自家発電設備（劣化状況・定期点検の結果、経年） ・ 動力設備（定期点検の結果、経年） ・ 非常用照明・火災報知設備（劣化状況・定期点検の結果、経年）
機械	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空気調和・換気・排煙設備（劣化状況・定期点検の結果、経年） ・ 給排水・衛生・給油設備（劣化状況・定期点検の結果、経年）
防災設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消火設備等（劣化状況・定期点検の結果、経年）
昇降設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ エレベーター設備等（定期点検の結果、経年）

②施設の用途

施設の持つ平時及び緊急時の用途について、以下の基準により分類を行う。



本計画の対象施設について、上記の基準に基づいた分類を行うと以下のとおりとなるが、優先度が一番低い(4)の施設は 5 施設のみであり、総じて避難所に指定されている施設か、常時不特定多数の町民等が利用する施設であることがわかる。

No.	施設名	基準	No.	施設名	基準
1	長与役場庁舎	(1)	23	長与町ふれあいセンター	(2)
2	長与町役場車庫棟	(4)	24	ふれあいセンター・体育館	(1)
3	第1分団格納庫	(1)	25	ふれあいセンター・電気棟	(4)
4	第2分団格納庫	(1)	26	長与町民文化ホール	(1)
5	第3分団格納庫	(1)	27	つどいの家	(1)
6	第4分団格納庫	(1)	28	陶芸の館	(4)
7	第5分団格納庫	(1)	29	高田保育所	(2)
8	第6分団格納庫	(1)	30	高田児童館	(2)
9	第7分団格納庫	(1)	31	上長与児童館	(1)
10	第8分団格納庫	(1)	32	長与北児童館	(2)
11	第9分団格納庫	(1)	33	長与南児童館	(2)
12	長与町図書館	(2)	34	長与児童館	(2)
13	長与町健康センター	(2)	35	上長与体育館	(2)
14	老人福祉センター丸田荘	(2)	36	長与町民体育館	(1)
15	長与町公民館	(2)	37	長与町武道館	(1)
16	長与町公民館横倉庫	(4)	38	長与町ウォーキングセンター 潮井崎交流館	(1)
17	高田地区公民館	(2)	39	長与町海洋スポーツ交流館	(1)
18	上長与地区公民館	(1)	40	長与町海洋スポーツ艇庫	(4)
19	長与北部地区 多目的研修集会施設	(1)	41	まんてん	(2)
20	長与町勤労青少年ホーム	(2)	42	長与町営駐車場	(2)
21	長与町働く婦人の家	(2)	43	長与駅舎(コミュニティホール他)	(2)
22	長与南交流センター	(1)			

③施設の利用状況

改修にかかる優先順位を検討するうえで、各施設の利用状況を考慮する。

各施設の利用状況については、直近の5年ごとの推移を踏まえることとするが、詳細は「Ⅶ 施設類型ごとの管理計画」にて記載する。

VII 施設類型ごとの管理計画

本計画の対象施設について、総合管理計画にて分類した施設類型ごとに、現状と課題及び今後の方針を定める。

1. 行政系施設

No.	施設名	構造	延床面積	建築年度	目標使用年数	残年数	担当課
1	長与町役場庁舎	RC	6,153.95	1988	2053	33	契約管財課
2	長与町役場車庫棟	S	592.85	1988	2053	33	契約管財課
3	第1分団格納庫	W	78.34	1985	2033	13	地域安全課
4	第2分団格納庫	W	77.13	1977	2025	5	地域安全課
5	第3分団格納庫	W	79.92	2009	2057	37	地域安全課
6	第4分団格納庫	W	81.75	2008	2056	36	地域安全課
7	第5分団格納庫	W	79.42	2014	2062	42	地域安全課
8	第6分団格納庫	W	139.12	2015	2063	43	地域安全課
9	第7分団格納庫	W	107.1	2017	2065	45	地域安全課
10	第8分団格納庫	RC	86.64	2012	2077	57	地域安全課
11	第9分団格納庫	W	82.57	1978	2026	6	地域安全課

<現状と課題、今後の方針>

No.1 長与町役場庁舎

【利用状況】

・通常時における行政サービスの提供という視点のみに留まらず、緊急時の防災拠点施設としての機能も求められている。

【老朽化状況】

・経年に応じた劣化状況となっているが、建築から30年が経過していることもあり、屋根防水については他の部位よりも劣化が進んでいる状況である。また、その他の部位についても、経過年数を踏まえた改修を行い、施設の長寿命化を図っていく。

【今後の方針】

・平時・緊急時においても行政機能を維持するうえで非常に重要な施設であり、計画的な改修を行いながら施設の長寿命化を図る。築30年を経過し、老朽化が進んでいる状況を踏まえ、劣化状況調査でも課題が見受けられた屋根防水はもとより、他の主要部位についても本計画期間内に改修を行う。

No.2 長与町役場車庫棟

【利用状況】

- ・ 1階を公用車の駐車場として、2階は主に倉庫として利用している。

【劣化状況】

- ・ 長与町役場庁舎同様に築30年が経過し、経年による劣化が見受けられており、特に屋根防水の劣化が指摘されている。

【今後の方針】

- ・ 屋根防水の劣化が若干目立っている状況ではあるが、一般市民の利用等がない現状を踏まえ、対策の優先順位は高くないと考えられることから、当面は不具合箇所について適宜修繕を行い、施設を維持・管理する。

No.3～11 各消防格納庫

【利用状況】

- ・ 常時不特定多数の市民が利用する施設ではないが、平時は消防車両や資機材の保管・管理を行うとともに、水火災等の発生時には消防団員の活動拠点として利用される施設である。

【老朽化状況】

- ・ 計画的な更新を実施しており、第1分団、第2分団、及び第9分団以外は築年数も浅く、良好な状態である。

【今後の方針】

- ・ 第1分団、第2分団及び第9分団格納庫について、本計画期間内に更新を行う。

2. 社会教育系施設

No.	施設名	構造	延床面積	建築年度	目標使用年数	残年数	担当課
12	長与町図書館	RC	1,666.3	1957	2022	2	生涯学習課

<現状と課題、今後の方針>

No.12 長与町図書館

【利用状況】

長与町 図書館	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		52,674	50,029	50,494	48,288	48,078	49,913
	利用件数 (貸出点数)	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		172,524	160,825	185,072	196,924	209,440	184,957

・近年、利用者数は微減傾向にあるものの、利用件数（貸出点数）は年々増加しており、今後についても、利用件数（貸出点数）、及び利用者数の大きな減少は見込んでいない。

【老朽化状況】

・大規模改修を経て、平成元年に開館しているが、そのベースは昭和33年に建設された旧役場庁舎である。このため、外壁や内壁においてひび割れが発生しているほか、外部の鉄部に錆の発生が認められるなど、著しく老朽化が進んでいる状況にある。

【今後の方針】

・設置目的や住民ニーズを踏まえると今後も必要不可欠な施設であるが、老朽化が進行しており、かつ目標使用年数に達することから、当面は事後保全的な維持・管理を行い、本計画期間内に更新を行う。更新にあたっては、同じく老朽化が進んでいる健康センターとの複合化を行う。

3. 保健・福祉系施設

No.	施設名	構造	延床面積	建築年度	目標使用年数	残年数	担当課
13	長与町健康センター	RC	678.44	1965	2030	10	健康保険課
14	老人福祉センター丸田荘	RC	812.15	2000	2065	45	福祉課

<現状と課題、今後の方針>

No.13 長与町健康センター

【利用状況】

長与町健康センター	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		8,257	7,412	8,661	8,486	7,804	8,124

・町の母子保健事業・健康増進事業の殆どの事業を行っており、年度によりばらつきはあるが約 8,000 人が利用している。器具や設備も必要なため、既存の代替施設では実施が困難であり、今後も相当数の利用需要が見込める施設である。

【老朽化状況】

・No.23「長与町ふれあいセンター」との複合施設であり、建物としては昭和 40 年に建設されたもので、築 50 年を超えている。このため、躯体はかなり劣化しているものと考えられる。屋根防水は、表面の塗膜はさほど問題ない状態であるが、下地との密着性が落ちており、膨らみや、剥がれ等がいたるところで発生しており、実際に雨漏り箇所が複数確認されている。

【今後の方針】

・老朽化が進行しており、今後 10 年程で目標使用年数に達することから、大規模改修を行うのではなく、不具合箇所について適宜修繕を行い、本計画期間内に更新を行う。更新にあたっては、同じく老朽化が進んでいる長与町図書館との複合化を行う。

No.14 老人福祉センター丸田荘

【利用状況】

老人福祉センター丸田荘	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		20,563	31,023	32,073	32,611	29,470	29,148

・平成 25 年度はボイラー工事に伴う休館のため利用者が減少したが、その他の年度はほぼ横ばいの利用状況である。また、平成 30 年度に上長与地区公民館の入浴施設が廃止となったため、利用者の増加が見込まれる。

【老朽化状況】

・建築後 20 年程が経過しており、壁の微細なひびや、屋根防水の表面の汚れが目立つなどの細かな問題はああるものの、現時点で大きな劣化は見受けられない。

【今後の方針】

- 本計画期間中は、これまで通り不具合箇所について適宜修繕を行い、施設を維持・管理する。

4. 市民文化系施設

No.	施設名	構造	延床面積	建築年度	目標使用年数	残年数	担当課
15	長与町公民館	S	700	1967	2032	12	生涯学習課
16	長与公民館横倉庫	その他	131	1970頃	2020頃	0	生涯学習課
17	高田地区公民館	RC	797.5	1975	2040	20	生涯学習課
18	上長与地区公民館	RC	711.73	1979	2044	24	生涯学習課
19	長与北部地区 多目的研修集会施設	RC	608.83	1982	2047	27	生涯学習課
20	長与町勤労青少年ホーム	RC	765	1980	2045	25	生涯学習課
21	長与町働く婦人の家	RC	868	1982	2047	27	生涯学習課
22	長与南交流センター	S	873.8	2006	2071	51	地域安全課
23	長与町ふれあいセンター	RC	735.77	1965	2030	10	地域安全課
24	長与町ふれあいセンター 体育館	SRC	670	1965	2030	10	地域安全課
25	長与町ふれあいセンター 電気棟	S	102	1965	2030	10	地域安全課
26	長与町民文化ホール	SRC	3,531.34	1997	2062	42	生涯学習課
27	長与町宿泊研修施設 「つどいの家」	W	352.42	1993	2041	21	生涯学習課
28	陶芸の館	S	160.7	1996	2061	41	生涯学習課

<現状と課題、今後の方針>

No.15 長与町公民館

【利用状況】

長与町 公民館	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		27,594	27,507	28,988	24,940	22,799	26,366
長与町 公民館	利用件数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		2,092	2,195	2,167	2,128	1,927	2,102

- ・利用者数等がゆるやかな減少傾向にあるが、今後の大きな減少は見込んでいない。

【老朽化状況】

- ・築50年を超えており、劣化はかなり進行している状況にある。外壁はほぼ全域にひび割れが発生しており、屋根についても一部で錆が発生しているなど、大規模改修が必要であると考えられる。

【今後の方針】

- ・設置目的や住民ニーズ等を踏まえると今後も維持していくべき施設であり、本計画期間内に更新の方向性について検討を始める。

No.16 長与公民館横倉庫

【利用状況】

- ・備品等の保管場所としての利用に留まり、一般住民等の利用はない。

【老朽化状況】

・築47年を越えており、劣化はかなり進行している。スレートの外壁は破損等が多くあり劣化は著しいものとなっているほか、屋根も劣化が激しく多くの破損があり、防水機能は著しく悪い状況である。

【今後の方針】

・倉庫としての機能のみであるため、老朽化が進み機能を果たさなくなった時に、更新するか否かの判断をするか、もしくは、長与町公民館の方向性を検討する際に、あわせて検討を行う。

No.17 高田地区公民館

【利用状況】

高田地区 公民館	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		19,556	19,593	19,368	20,854	20,573	19,989
	利用件数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		1,519	1,525	1,497	1,657	1,609	1,561

- ・利用者数等はゆるやかに増加傾向であり、今後も大きな減少は見込んではいない。

【老朽化状況】

・昭和50年に建設された本体部分と、平成4年に増築された部分により構成されている。外壁については、全体的にひび割れや、塗膜の汚れやチョーキングや剥がれなどが随所に見られる。

【今後の方針】

・目標使用年数まで20年を残すが、隣接するふれあいセンターが今後10年程で目標使用年数に達し、更新の方向性について検討する必要があることから、施設の用途が類似する本施設についても、本計画期間内に一体的な方向性の検討を始める。

No.18 上長与地区公民館

【利用状況】

上長与地区 公民館	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		33,374	32,302	29,897	31,141	30,945	31,532
	利用件数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		1,008	26,106	23,741	24,499	23,463	19,763

- ・利用者数等は多少の増減はあるが、横ばい状況であり、利用者の適正な利用の促進が図られているものとする。

【老朽化状況】

・広範囲にわたって外壁にひび割れが発生している。また、屋根防水についても、経年による防水シートの汚れや膨らみ、しわなどが発生するなど劣化が進行している状態である。

【今後の方針】

・老朽化が進んでいる状況にあり、指定避難所になっていることから、本計画期間内の早い段階で、外壁、屋根防水の改修を行う。

No.19 長与北部地区多目的研修集会施設

【利用状況】

長与北部地区 多目的研修 集会施設	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		20,975	19,462	18,317	18,796	14,973	18,505
	利用件数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		1,895	1,907	1,912	1,724	1,458	1,779

・利用者数等は減少しているが、今後の大きな減少は見込んでいない。

【老朽化状況】

・経年の割に劣化は緩やかに進行しており、今のところ大きな不具合は出ていないが、屋根防水については、防水シートに剥がれ、膨らみやしわ等が見られることから、早い段階での対応が必要である。

【今後の方針】

・本計画期間内の早い段階で、屋根防水の改修を行う。

No.20 長与町勤労青少年ホーム

【利用状況】

長与町 勤労青少 年ホーム	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		22,297	22,323	21,237	17,212	19,137	20,441
	利用件数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		2,275	2,186	2,124	1,662	1,943	2,038

・平成25年度から27年度にかけては概ね2万2千人ほどの利用者で推移してきたが、平成28年度に大きく減少した。一方で、使用料の見直しがあった平成29年度は増加に転じており、今後も大きな減少は見込んでいない。

【老朽化状況】

・No.42「長与町営駐車場」との複合施設であり、外壁はタイル仕上げになっているが、タイル目地の間から白華の現象が見られるほか、浮きや割れが見られたことから、平成30年度に外壁の劣化度調査を実施し、令和元年度に一面のタイル除却を実施した。また、屋根防水の劣化が進行している。

【今後の方針】

・本計画期間内に、屋根防水の改修を行う。

No.21 長与町働く婦人の家

【利用状況】

長与町 働く婦人 の家	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		16,971	17,776	17,293	20,324	18,043	18,081
	利用件数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		1,518	1,634	1,620	1,947	1,903	1,724

- ・利用者数・利用件数共に、年々増加しており、今後も大きく減少するという想定はない。

【老朽化状況】

- ・屋根の防水シートの劣化が進んでいる状況にあり、ところどころに、膨らみやしわ等もかなり見られるため、本来の防水機能があまり期待できない状態となっている。

【今後の方針】

- ・本計画期間内に、屋根防水の改修を行う。

No.22 長与南交流センター

【利用状況】

長与南 交流 センター	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		49,071	42,922	46,173	47,086	40,981	45,247
	利用件数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		3,567	3,621	3,784	3,909	3,548	3,686

- ・平成29年度の施設利用料の見直しに伴い、利用者数が減少したが適正な利用が図られた結果だと考えており、設備の状態や駐車場の利便性を鑑みると今後の利用者数は増加していくとの想定である。

【老朽化状況】

- ・屋根材の劣化が進んでいる。

【今後の方針】

- ・本計画期間内に、屋根の改修を行う。

No.23 長与町ふれあいセンター

【利用状況】

長与町 ふれあい センター	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		28,061	30,660	31,542	34,203	33,160	31,525
	利用件数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		1,993	2,317	2,441	2,574	2,693	2,404

- ・一時的な利用者の増減はあるが、駐車場や立地の利便性を鑑みると増加傾向にある。

【老朽化状況】

- ・No.13「長与町健康センター」との複合施設であり、劣化状況についても同様である。

【今後の方針】

- ・老朽化の進行や目標使用年数までの残年数を踏まえ、大規模な改修を行うのではなく、不具合箇所について適宜修繕を行い、本計画期間内に更新に向けた検討を始める。

No.24 長与町ふれあいセンター 体育館

【利用状況】

ふれあいセンター 体育館	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		19,520	19,607	20,337	20,862	21,173	20,300
	利用件数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		1,935	1,964	1,941	1,931	1,810	1,916

- ・利用者数は年々増加しており、特に駐車場も完備しており町外者にも利用しやすい位置にあるため、今後町内外を問わず利用者が増加していくと考えられる。

【老朽化状況】

- ・外壁はコンクリート部に汚れやクラックが発生しているほか、柱周りにも大きなひび割れや爆裂等もあり、劣化が進んでいる。

【今後の方針】

- ・No.23「長与町ふれあいセンター」と不可分な施設であるため、当該施設と一体的に方向性を検討する。

No.25 長与町ふれあいセンター 電気棟

【利用状況】

- ・建物の2階にキュービクル（高圧受電設備）が設置されており、1階はコミュニティの倉庫や資源ごみの収集場所として利用されている。

【老朽化状況】

- ・建物は築50年を越えているが、倉庫としての利用は問題ない状況である。ただし、2階に電気設備が設置されているため、漏水には気をつける必要がある。

【今後の方針】

- ・No.23「長与町ふれあいセンター」と不可分な施設であるため、当該施設と一体的に方向性を検討する。

No.26 長与町民文化ホール

【利用状況】

長与町民 文化ホール	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		39,500	37,637	38,586	35,778	33,446	36,989
	利用件数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		436	406	413	347	361	393

・平成28年度に利用停止期間を設けた影響で、一時的に利用者数・件数が減少したものの、近隣市町のホールと比較して、地元団体が利用しやすいこともあり、今後も町内の文化団体や学校、幼稚園等の利用需要があると見込まれる。

【老朽化状況】

・劣化はそれぞれの部位の一般的な耐用年数に応じて進行している状況であるが、屋根防水、外壁については、大規模改修が必要と判断されたことから、令和元年度に屋根防水の改修を行った。

【今後の方針】

・目標使用年数まで40年以上あることから、施設の長寿命化を図るという視点に立ち、本計画期間内に、外壁の改修を行う。

No.27 つどいの家

【利用状況】

つどいの家	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		1,720	1,136	1,328	1,445	1,110	1,348
	利用件数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		77	80	69	66	56	70

・常連の利用団体が一定数いるため、利用件数及び利用者数に大きな変化は見込まれないが、新規の利用者を増やす取り組みが必要である。

【老朽化状況】

・外壁にひび割れ等が局所的に発生しているものの、劣化の進行は緩やかである。

【今後の方針】

・本計画期間中はこれまで通り、不具合箇所について適宜修繕を行い、施設を維持・管理する。

No.28 陶芸の館

【利用状況】

陶芸の館	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		2,869	3,029	2,768	2,764	2,289	2,744

・陶芸という性質上、利用者が一部に限定されることは否めないが、町内外問わず各地域から広く利用されており、今後も一定の利用需要が見込める。

【老朽化状況】

・雨樋など軽微な修繕が多少出てきているものの、劣化はあまり進行していない状況にある。

【今後の方針】

・本計画期間中はこれまで通り、不具合箇所について適宜修繕を行い、施設を維持・管理する。

5. 子育て系施設

No.	施設名	構造	延床面積	建築年度	目標使用年数	残年数	担当課
29	高田保育所	RC	1,419.43	2013	2078	58	こども政策課
30	高田児童館	SRC	299.5	1983	2048	28	こども政策課
31	上長与児童館	RC	201.6	1990	2055	35	こども政策課
32	長与北児童館	RC	299.8	1992	2057	37	こども政策課
33	長与南児童館	RC	334.01	1994	2059	39	こども政策課
34	長与児童館	RC	654.2	2001	2066	46	こども政策課

<現状と課題、今後の方針>

No.29 高田保育所

【利用状況】

高田保育所	定員	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		90	90	90	90	90	90
高田保育所	入所者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		95	106	97	93	92	97

・認可保育所としての認可定員は90人であるが、近年は定員を若干上回る状況が続いている。

【老朽化状況】

・築年数が浅いことから劣化状況調査を実施していないが、現時点では問題がないものと考えられる。

【今後の方針】

・築年数が浅く、老朽化は見られないため、今後も適切な維持・管理を行う。

No.30 高田児童館

【利用状況】

高田児童館	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		11,265	12,434	13,264	15,157	17,120	13,848

・利用者数は横ばいだが、子育て支援センターとしての需要が高まり、同建物内の放課後児童クラブの登録人数も増加していることから今後利用者数は増加すると見込んでいる。

【老朽化状況】

・外壁については、全体にひび割れ、塗装の浮きが見られる。また、屋根防水についても、防水シートの劣化が激しく、表面の塗膜の劣化だけでなく屋根の下地から広範囲で剥がれており、早急に改修する必要がある。

【今後の方針】

・本計画期間内に、屋根防水、外壁の改修を行う。

No.31 上長与児童館

【利用状況】

上長与児童館	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		7,100	16,463	5,914	6,101	5,450	8,206

・令和元年度より、地域子育て支援拠点（子育て支援センター）【一般型】へ移行し、支援センターとしての開設時間を延長することから更なる利用者増が見込まれる。

【老朽化状況】

・外壁に微細なひびが所々に見受けられるなど、外部の劣化が多少進行している状況にあるが、他施設に比べて全体的な劣化は進んでいない。

【今後の方針】

- ・本計画期間内に、屋根防水、外壁の改修を行う。

No.32 長与北児童館

【利用状況】

長与北児童館	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		15,034	13,695	12,755	11,829	13,445	13,352

・利用者数が増加傾向にあり、今後も需要が高まり、利用者が増えることが見込まれる。

【老朽化状況】

・防水シートの劣化が激しく、表面の塗膜の劣化だけでなく屋根の下地から広範囲で剥がれており、早急に改修する必要がある。

【今後の方針】

- ・本計画期間内に、屋根防水の改修を行う。

No.33 長与南児童館

【利用状況】

長与南児童館	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		23,691	24,560	21,763	22,281	22,421	22,943

・利用者数は横ばいだが、子育て支援センターとしての需要が高まり、今後利用者数は増加すると見込んでいる。

【老朽化状況】

・外壁に微細なひびが所々に見受けられるなど、外部の劣化が多少進行している状況にあるが、他施設に比べて全体的な劣化は進んでいない。

【今後の方針】

- ・本計画期間内に屋根防水、外壁の改修を行う。

No.34 長与児童館

【利用状況】

長与児童館	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		34,025	35,964	32,523	20,070	15,429	27,602

・令和元年度より、地域子育て支援拠点（子育て支援センター）【一般型】へ移行し、支援センターとしての開設時間を延長することから更なる利用者増が見込まれる。

【老朽化状況】

・屋上の立ち上がりに設置された手摺の埋め込み部は、ほぼ全てにひび割れが発生しているほか、斜面に接続した手摺部分に亀裂が入っているなど、劣化が多少進行している状況にあるが、他施設に比べて全体的な劣化は進んでいない。

【今後の方針】

・本計画期間内に外壁、屋根防水の改修を行う。

6. スポーツ・レクリエーション系施設

No.	施設名	構造	延床面積	建築年度	目標使用年数	残年数	担当課
35	上長与体育館	S	832	1977	2042	22	生涯学習課
36	長与町民体育館	RC	3,199.31	1993	2058	38	生涯学習課
37	長与町武道館	S	984.8	1988	2053	33	生涯学習課
38	長与町ウォーキングセンター潮井崎交流館	W	224.05	2001	2049	29	土木管理課
39	長与町海洋スポーツ交流館	RC	196	2008	2073	53	生涯学習課
40	長与町海洋スポーツ艇庫	S	544	2010	2075	55	生涯学習課

<現状と課題、今後の方針>

No.35 上長与体育館

【利用状況】

上長与体育館	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		17,894	19,652	21,176	20,700	19,458	19,776
上長与体育館	利用件数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		1,510	1,701	1,789	1,756	1,743	1,700

・利用者数等は多少の増減はあるが、横ばい状況であり、利用者の適正な利用の促進が図られているものとする。

【老朽化状況】

・築40年を越えており、劣化はかなり進行している。屋根は全面改修をなされた跡がなく、塗装や部分的な改修で対応してきた可能性があるが、相当の劣化が進んでいるため、平成29年度の劣化状況調査結果等を踏まえ、平成30年度に屋根防水工事を実施し、合わせて外壁や階段の塗装も行った。

【今後の方針】

・過年度に改修を行ったことを踏まえ、本計画期間中は大規模改修を行わず、不具合箇所について適宜修繕を行い、施設を維持・管理する。

No.36 長与町民体育館

【利用状況】

長与町民体育館	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		67,511	68,388	71,485	79,296	81,024	73,541
長与町民体育館	利用件数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		8,776	3,000	3,164	2,230	2,107	3,855

・町内の屋内スポーツ施設としては最も充実した施設であり、現在のアリーナの利用状況は9割程度と高い水準にある。今後も同程度の利用が見込まれる。

【老朽化状況】

・劣化は緩やかに進行している状況にある。一方で、外壁には、全体的に構造に影響のない小さなクラックが発生しているほか、建物の表面に爆裂や亀裂の発生等もあるため、詳細な点検・改修が必要である。

【今後の方針】

・目標使用年数まで40年以上あることから、施設の長寿命化を図るという視点に立ち、本計画期間内に外壁、屋根防水の改修を行う。

No.37 長与町武道館

【利用状況】

長与町 武道館	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		24,831	24,990	31,568	26,286	26,113	26,758
	利用件数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		1,142	1,215	1,525	1,349	1,278	1,302

・町内唯一の武道場であり、平日8割程度、休日は3割程度の利用率で、今後も横ばいの利用が考えられる。

【老朽化状況】

・外壁にはほぼ全域にひび割れが発生しているほか、屋根防水は塗膜が剥がれており、妻側は雨水の影響でほかに比べ色落ち等の劣化が激しくなっている。

【今後の方針】

・目標使用年数まで30年以上あることから、施設の長寿命化を図るという視点に立ち、本計画期間内に屋根防水、外壁の改修を行う。

No.38 長与町ウォーキングセンター潮井崎交流館

【利用状況】

長与町 ウォーキング センター 潮井崎 交流館	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		11,740	7,434	6,169	4,566	5,363	7,054
	利用件数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		634	624	598	513	748	623

・利用者によるSNSの宣伝等により無料のキャンプ場・バーベキュー場として認知されており、デイキャンプなどを中心として今後も利用件数は一定程度期待できる。

【老朽化状況】

・劣化は緩やかな進行といえる状況にあるが、劣化状況に応じた周期的な改修の検討が必要と思われる。

【今後の方針】

・劣化状況調査における施設評価において緊急性が認められていないため、本計画期間中はこれまで通り不具合箇所について適宜修繕を行い、施設を維持・管理する。

No.39 長与町海洋スポーツ交流館

【利用状況】

長与町 海洋 スポーツ 交流館	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		9,885	12,831	11,691	8,857	8,451	10,343
長与町 海洋 スポーツ 交流館	利用件数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		171	185	272	不明	305	233

・ペーロンをはじめ海洋スポーツ活動の拠点であるが、近年、太極拳やピラティスなど気軽に取り組める健康づくりの活動の使用が増加している。

【老朽化状況】

・築年数が浅いことから劣化状況調査を実施していないが、現時点では特段の問題がないものとする。

【今後の方針】

・築年数が浅く、老朽化は見られないため、今後も適切な維持・管理を行う。

No.40 長与町海洋スポーツ艇庫

【利用状況】

・ペーロン舟が保管されており、一般住民の利用はほとんどない施設である。

【老朽化状況】

・築年数が浅いことから劣化状況調査を実施していないが、現時点では特段の問題がないものとする。

【今後の方針】

・築年数が浅く、老朽化は見られないため、今後も適切な維持・管理を行う。

7. 産業系施設

No.	施設名	構造	延床面積	建築年度	目標使用年数	残年数	担当課
41	まんてん	S	199.89	2002	2067	47	産業振興課

<現状と課題、今後の方針>

No.41 まんてん

【利用状況】

まんてん	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		71,664	71,455	70,813	67,275	61,615	68,564

【老朽化状況】

・築年数が浅いことから劣化状況調査を実施していないが、現時点では特段の問題がないものとする。

【今後の方針】

・築年数が浅く、老朽化は見られないため、今後も適切な維持・管理を行う。

8. その他

No.	施設名	構造	延床面積	建築年度	目標使用年数	残年数	担当課
42	長与町営駐車場	RC	1,440.85	1979	2044	25	契約管財課
43	長与駅舎（コミュニティホール他）	S	637.8	1997	2062	43	契約管財課

<現状と課題、今後の方針>

No.42 長与町営駐車場

【利用状況】

長与町営 駐車場	利用者数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		33,108	33,147	35,467	35,088	34,319	34,226

・過去5年間では利用者数に大きな変動はなく、今後も引き続き一定の利用があるものと考えられる。

【老朽化状況】

・No.20「長与町勤労青少年ホーム」との複合施設である。平成29年度に天井のコンクリートの劣化が確認されたため修繕を行ったが、別の箇所においても広範囲で劣化の状況が見受けられる。

【今後の方針】

・本計画期間中はこれまで通り、不具合箇所について適宜修繕を行い、施設を維持・管理する。

No.43 長与駅舎（コミュニティホール他）

【利用状況】

長与駅舎 (コミュニティ ホール他)	利用件数	H25	H26	H27	H28	H29	平均
		28	29	20	18	22	23

・申請数こそ多くないが、平成30年度の利用日数は200日を超え、平成29年度の138日より大きく増加している。駅利用者の待合室としての機能もあるため、今後も一定の利用が見込める。

【劣化状況】

・屋根、外壁や外部建具に劣化が見られる。

【今後の方針】

・本計画期間内に劣化状況調査を実施し、必要に応じて屋根や外壁など劣化が見られる箇所の改修工事を行う。なお、JRとの区分所有となっているため、施工方法や費用負担等についてJRとの協議が必要である。

Ⅷ 具体的な管理スケジュール

「Ⅵ 対策の優先順位の考え方」及び「Ⅶ 施設類型ごとの管理計画」に基づき、具体的な管理スケジュールを別表のとおりとする。

なお、各施設の劣化状況、利用状況や更新にかかる方向性の検討状況は年々変化することが予想されるため「Ⅲ 計画期間」にあるとおり、5年ごとに定期的見直しを行うことで、スケジュールに大きな乖離が生じないように留意するものとする。

○施設管理スケジュール

(1) 行政系施設

No.	施設名	構造	延床面積	建築年度	令和2年度～令和5年度	令和6年度～令和8年度	令和9年度～令和11年度
1	長与町役場庁舎	RC	6153.95	1988		屋根防水 受変電設備	外壁改修 給排水設備
2	長与町役場車庫棟	S	592.85	1988			
3	第1分団格納庫	W	78.34	1985			更新
4	第2分団格納庫	W	77.13	1977	更新		
5	第3分団格納庫	W	79.92	2009			
6	第4分団格納庫	W	81.75	2008			
7	第5分団格納庫	W	79.42	2014			
8	第6分団格納庫	W	139.12	2015			
9	第7分団格納庫	W	107.1	2017			
10	第8分団格納庫	RC	86.64	2012			
11	第9分団格納庫	W	82.57	1978		更新	

(2) 社会教育系施設

No.	施設名	構造	延床面積	建築年度	令和2年度～令和5年度	令和6年度～令和8年度	令和9年度～令和11年度
12	図書館	RC	1666.3	1957	方向性検討	更新	

(3) 保健・福祉系施設

No.	施設名	構造	延床面積	建築年度	令和2年度～令和5年度	令和6年度～令和8年度	令和9年度～令和11年度
13	長与町健康センター	RC	678.44	1965	方向性検討	更新	
14	老人福祉センター「丸田荘」	RC	812.15	2000			

(4) 市民文化系施設

No.	施設名	構造	延床面積	建築年度	令和2年度～令和5年度	令和6年度～令和8年度	令和9年度～令和11年度
15	長与町公民館	S	700	1967			方向性検討
16	長与公民館横倉庫	その他	131	1970頃			方向性検討
17	高田地区公民館	RC	797.5	1975			方向性検討
18	上長与地区公民館	RC	711.73	1979	外壁改修	屋根防水	
19	長与北部地区 多目的研修集会施設	RC	608.83	1982	屋根防水		
20	長与町勤労青少年ホーム	RC	765	1980			屋根防水
21	長与町働く婦人の家	RC	868	1982			屋根防水
22	長与南交流センター	S	873.8	2006		屋根防水	
23	長与町ふれあいセンター	RC	735.77	1965			方向性検討
24	長与町ふれあいセンター体育館	SRC	670	1965			方向性検討
25	長与町ふれあいセンター電気棟	S	102	1965		受変電設備	方向性検討
26	長与町民文化ホール	SRC	3531.34	1997	外壁改修		
27	長与町宿泊研修施設 「つどいの家」	W	352.42	1993			
28	陶芸の館	S	160.7	1996			

(5) 子育て支援施設

No.	施設名	構造	延床面積	建築年度	令和2年度～令和5年度	令和6年度～令和8年度	令和9年度～令和11年度
29	高田保育所	RC	1419.43	2013			
30	高田児童館	SRC	299.5	1983		屋根防水 外壁改修	
31	上長与児童館	RC	201.6	1990			屋根防水 外壁改修
32	長与北児童館	RC	299.8	1992		屋根防水	
33	長与南児童館	RC	334.01	1994		屋根防水	外壁改修
34	長与児童館	RC	654.2	2001		外壁改修 屋根防水	

(6) スポーツ・レクリエーション系施設

No.	施設名	構造	延床面積	建築年度	令和2年度～令和5年度	令和6年度～令和8年度	令和9年度～令和11年度
35	上長与体育館	S	832	1977			
36	長与総合公園 長与町民体育館	RC	3199.31	1993	外壁改修		屋根防水
37	長与町武道館	S	984.8	1988	屋根防水		外壁改修
38	長与町カウキング センター-潮井崎交流館	W	224.05	2001		屋根防水	外壁改修
39	長与町海洋スポーツ交流館	RC	196	2008			
40	長与町海洋スポーツ艇庫	S	544	2008			

(7) 産業系施設

No.	施設名	構造	延床面積	建築年度	令和2年度～令和5年度	令和6年度～令和8年度	令和9年度～令和11年度
41	まんてん	S	199.89	2002			

(8) その他

No.	施設名	構造	延床面積	建築年度	令和2年度～令和5年度	令和6年度～令和8年度	令和9年度～令和11年度
42	長与町営駐車場	RC	1440.85	1979			
43	長与駅舎 (コミュニティホール他)	S	637.8	1997		屋根防水 外壁改修	

Ⅹ 対策費用

本計画の期間内（10年間）に必要なと位置づけられた建物別の更新及び改修工事について、更新単価や改修単価を設定し、概算の工事費の算出を行う。

なお、算出条件については、以下のとおりとする。

(1) 「改修単価」及び「更新単価」の設定

本計画に使用する「改修単価」及び「更新単価」は「平成17年版建築物のライフサイクルコスト（国土交通省大臣官房庁営繕部監修）」掲載の各単価に時点修正を加えたものを採用する。

(2) 「改修費用」の算定

(1)の「改修単価」に建物の延床面積を乗じて算定する。

(3) 「更新費用」の算定

(2)「更新単価」に、現在の建物の延床面積を乗じて算定する。なお「更新費用」は「構成」別に算定するが、更新は全ての構成部分が同時に更新されるものとし、更新時（大規模改造（内部改造＋外部の改修等すべての改修を含む）の費用は各構成の合計を「更新費用」とする。

※なお、上記の算出条件のほか、見積りの徴収や参考となる工事の発注事例などにより実態に近い概算工事費が把握できている場合には、当該費用を用いるものとする。

<留意事項>

ここで示す概算工事費は、あくまでも試算であり、工法等により大きく変動するほか、工事に際し必要となる設計費用や付帯工事費等についても算入していないため、実際の工事費とは乖離が生じる可能性がある。

上記により算出した概算工事費は下記のとおりとなる。

	令和2年度～5年度	令和6年度～8年度	令和9年度～11年度
改修費用	184,306千円	283,817千円	428,910千円
更新費用	608,096千円	1,926,160千円	25,079千円
計	792,402千円	2,209,977千円	453,989千円

※工事費が複数年度にまたがり、その費用が不可分であることが想定される場合には、後年度での支出としている。